

## 日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
第21回気候影響・利用研究会シンポジウム「気候変動とその影響に関する国内関連機関の取り組み」	1996年 3月 1日		気象庁 (東京都千代田区)	国立環境研究所地球環境研究グループ 増田啓子 Tel. 0298-51-6111(内392)
1996年度日本海洋学会春季大会	1996年 4月 7日 ～11日	日本海洋学会	東京大学教養学部 (東京都目黒区)	大会実行委員会事務局 (東京大学海洋研究所) Tel. 03-5351-6460 Fax. 03-5351-6461
日本気象学会 1996年度春季大会	1996年 5月21日 ～23日	日本気象学会	大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)	気象学会大宮96事務局 (東京大学海洋研究所海洋気象部門) Tel. 03-5351-6523 Fax. 03-3377-3395
日本農業気象学会 1996年度全国大会	1996年 7月29日 ～31日	日本農業気象学会 (日本生物環境調節学会と合同開催)	宇部全日空ホテル (山口県宇部市)	山口大学農学部 谷 宏 Tel. 0839-22-6111(内424) Fax. 0839-22-6607
第19回国際理論・応用力学会議	1996年 8月25日 ～31日	International Union of Theoretical and Applied Mechanics (IUTAM)	国立京都国際会館 (京都市)	事務局 渡邊英一 Tel. 075-753-5079
日本気象学会 1996年度秋季大会	1996年11月 6日 ～ 8日	日本気象学会	名古屋国際会議場 (名古屋市)	日本気象学会中部支部 Tel. 052-751-5123 Fax. 052-762-1242

**編集後記**：私は昨年久しぶりに、「天気」に2編の論文を投稿し、好運なことに2編とも採用印刷されました。今回は最終原稿と校正について述べます。

最初の論文は原稿用紙（プリントアウト）の形で入稿しました。ゲラが届いて、著者校正をしましたが、原稿の量が多く、校正に手間取りました。どういう訳か、私の論文はタイピストの入力ミスが多々ありました。ミスの大半は、従来では考えられないような、同音異義語のミスです。そして、電算機入力特有の、一度間違えると同じ間違いが何度も繰り返されます。また、著者自身の間違いもありました。たとえば、同一頁に海風の「侵入」と「進入」、「環八」と「環8」があったり、「駒沢」と「駒澤」が出てきたりしていました。ゲラの段階でこのような不統一に気付き、訂正しました。どう統一したか難しいところですが、私は海風の「侵入」、「環八」を採用しました。地名としては「駒沢」が正しく（たとえば駒沢公園1丁目）、固有名詞としては「駒澤」が正しい（たとえば駒澤大学）よ

うです。心配だったので、2人の学生に校正をお願いしました。

ゲラ校正の後は、カラーの図の色校正をしました。3原色の組み合わせにより、色合いが微妙に異なります。たとえば、雲の写真の場合、色校正次第で、きれいな雲にも汚い雲にもなります。この調整を行うのが、色校正の段階です。私は衛星写真とモデルの図をカラーにしました。カラー印刷は割高ですが、分かりやすくてよいと思います。みなさまも、これはと思う図があれば、カラーにされたらよいと思います。ただし、カラー頁は原則として著者負担です。

2番目の論文は前回の反省に立ち、フロッピーディスクの形（テキスト形式）で入稿しました。タイピストのミスがなく、著者校正が大幅に軽減されました。「天気」では昨年から、フロッピー入稿を採用しましたが、校正の正確さ、スピードが格段に向上します。みなさまも、トライしてみてください。（甲斐憲次）